市内のできごとを写真入りでお知らせします

# まちのできごと

## チェコ共和国の首都プラハから
### プエリ・ガウデンテス少年合唱団が来日♪

チェコ共和国の首都プラハから、プエリ・ガウデンテス少年合唱団が11月21日から26日の日程で我孫子を訪れ市内文化祭などに参加しました。

合唱団は、白山中学校合唱コンクールをはじめ、あびこ国際交流まつり、市民合唱祭などのステージで美声を響かせました。

また、市内でホームステイし、日本文化も体験しました。

▲プエリ・ガウデンス少年合唱団

## 「人権の花」運動でしゃくやくの株を
### 我孫子第四小と我孫子第一小へ贈呈

▲第一小学校での贈呈式

11月始め、我孫子第四小と我孫子第一小へ、それぞれ「人権の花」運動に取り組むための「しゃくやくの株」が贈られました。「人権の花」運動は、花の種や球根などを児童が協力し合って育てることで、協力や感謝の大切さ、生命の尊さを学ぶもので、市・人権機関・学校が共同で実施しています。

贈呈を受けた児童の代表は「みんなで協力しあって大切に育てます」と話していました。

## 人権擁護委員の授業でいじめを考える
### 新木小と高野山小で人権教室を開催

子どもたちに人権の大切さを理解してもらうための「人権教室」が、10月24日に新木小と11月6日に高野山小の、4年生のクラスで行われました。この教室では、人権擁護委員の蒲田知子さんと星川アイ子さんが、児童と一緒に啓発ビデオ「プレゼント」を観ながら、「いじめ」についての授業を行いました。

授業に参加した児童は、「いじめられているのを黙って見ているだけでも、いじめと同じだとわかった」と話していました。

▲真剣に話を聴く新木小の児童

# 市内から9作品が支部長賞などを受賞
## 千葉県児童生徒・教職員科学作品展で

10月20日(土)・21日(日)、平成19年度県児童生徒・教職員科学作品展が県総合教育センターで開催されました。市内小中学校からは科学工夫工作14作品、科学論文5作品計19作品を出品し、次の9作品が発明協会千葉県支部長賞などを受賞しました。

問　教育委員会指導課☎7185-1367

▼科学工夫作品の部

| 賞 | 作品名 | 氏名 |
|---|---|---|
| 千教組委員長賞 | ぼくのスペースコースター | 清水夏輝さん（根戸小6年） |
| 優秀賞 | 交流リニアモーターを作りたい | 宮木陽輔さん（我孫子中1年） |
| 優良賞 | ハッケヨーイ、ノコッタ | 薗部真弥さん（我孫子第四小1年） |
| 優良賞 | 肺活量計 | 中嶋佐紀さん（布佐小5年） |

▼科学論文の部

| 賞 | 作品名 | 氏名 |
|---|---|---|
| 発明協会千葉県支部長賞 | ほうせんか ～小さな種から大変身～ | 越川裕介さん（我孫子第一小3年） |
| 優秀賞 | カメって本当にのろまなの？ | 桑原一歌さん（高野山小4年） |
| 優秀賞 | パラシュートの研究 | 増田直友さん、洞毛省吾さん ほか13人（我孫子中科学部） |
| 優良賞 | アリジゴクの研究 パート2 | 味岡怜奈さん（我孫子第四小3年） |
| 優良賞 | 惣太の蛾研究室 | 大井惣太（我孫子第三小6年） |

# 農産物共進会で11品目が受賞

11月3日㈷あびこ農産物直売所で、農家自慢の農作物の出来栄えを競う「平成19年度農産物共進会」が第26回我孫子市農業まつりと併せて行なわれました。

秋冬野菜、果物、玄米、加工品など146点が出展され、10品目の特別賞、来場者の人気投票による第26回農業まつり大賞1品が選出されました。受賞者は次のとおりです。

問　農政課・内線510

▼特別賞・農業まつり大賞受賞者

| 賞 | 品目 | 受賞者 |
|---|---|---|
| 千葉県知事賞 | かぶ | 岩立高司さん（台田） |
| 我孫子市長賞 | トマト | 松下亮一さん（岡発戸新田） |
| 東葛飾農林振興センター所長賞 | きゅうり | 中野裕さん（中里） |
| 我孫子市農業委員会会長賞 | 白菜 | 須藤一宏さん（柴崎） |
| 北総農業共済組合組合長理事賞 | 八つ頭 | 寺田淳次さん（根戸） |
| 東葛ふたば農業協同組合代表理事組合長賞 | 玄米 | 成島誠さん（久寺家） |
| 我孫子市植物防疫協会会長賞 | しょうが | 日暮正子さん（布施） |
| 我孫子市あゆみの郷公社理事長賞 | 米粉ロールケーキ | 柴崎グループさん（柴崎） |
| あびこ農産物出荷組合長賞 | ほうれん草 | 日暮啓子さん（久寺家） |
| 我孫子市農業青壮年会議会長賞 | 柿 | 山田渡さん（青山） |
| 第26回農業まつり大賞 | かぶ | 岩立久子さん（台田） |

# 文芸だより

## 短歌
榊原 敦子 選

晩秋の〈けやきプラザ〉ゆ見放くれば男体女体の筑波くきやか　東海林壽和

【評】駅前に〈けやきプラザ〉が建ち、私達は市を俯瞰なし得た。更には筑波も。

北口のマンション群はいつせいに灯ともし眠らぬ街となりゆく　小林 光江

【評】駅前を中心にわが市の変貌は著しい。十年一昔ならぬ五年一昔の実現。

開発や改革の名に破壊する伝統文化ふるさと遺産　岩戸 亨

〈かぐや〉より映し出されしわが地球 禍しらぬコバルトブルー　小出 礼子

水溜り素軽く跳びて児らは行くランドセルの蓋背に揺らして　須田 博

祖父拓きし女満別近し眼下にはサロマの湖とオホーツク海　平林 健次

わが猫は犬に追わるる夢見しか髭を振るわせ寝言をもらす（新かな）　白杉 政幸

歳晩のくりやは更けて雪平鍋に花びらのごとき百合の根を炊く　石河 和子

皆さんからの投稿をお待ちしています。締め切りは、毎月20日必着。ハガキで1人1作に限ります。投稿された作品は、選者により添削する場合もありますのでご了承ください。

「青少年（18歳以下）の部」へ応募する方は、必ず年齢を明記してください。

応募先　〒270-1192市役所広報室（住所省略可）※氏名にはふりがなを記載してください。

## 俳句
染谷 卓 選
島﨑 妙子 選（青少年の部）

それぞれに子は子の暮し柚子湯かな　野口 コウ

【評】柚子湯は冬至の日の風習。その湯船に体を沈め子らの無病息災を願っている。

寒月のくつきりと沼静かなり　今井 岩夫

媚売る百合根ふつくら年の市　中野 武

初冬の高原暮れて帰心早や　渋谷多佳子

柿たわわ一際高き兵の墓　青山 陽子

介護士に爪切られをり冬日向　吉田 冬径

文人も筆を拱く谷紅葉　岡本 邦男

**青少年の部（18歳以下）**

かれたきにかめが七ひきこうらぼし　宮原 太郎（5歳）

【評】かれたきは涸滝と書いて水が涸れている冬の滝のこと。亀も寒そうですね。

短歌・俳句の18歳以下（小・中学生、高校生ほか）の投稿も大歓迎です！

# あびこ植物図鑑

文・写真　佐久間俊行

No.244

## ヒレタゴボウ

（鰭田牛蒡）

（あかばな科）

十月の頃、高野山新田の親水広場を訪れると、手賀沼のほとりの湿地でヒレタゴボウが花をつけていました。

この草は北アメリカ原産の一年草で、別名をアメリカミズキンバイといいます。

水田、水路、池沼のほとりなどに生育し、草丈は五十センチから一メートル程になります。

葉は細長くて先がとがり、葉の基部は板を張り付けて横に張り出したような鰭状の茎と接しています。

花期は八～十月、花弁は四枚で黄色、花の径はおよそ二・五センチです。

花後にできる果実は細長く、横断面は正方形で、四隅が盛り上がっています。一見、クチナシの実を思わせる形で、先端には萼片が四枚、耳のような形で残っています。

果実は熟すと果皮が破れ、多くの小さな種子を放出します。